

マイバッグの普及のため長野県全域での 「レジ袋無料配布中止」を提唱します

長野県の豊かな自然環境を守り地球の温暖化を防止するため、レジ袋を削減し、マイバッグの普及に最も効果のある「レジ袋無料配布中止」について、県民の皆さんのご理解と事業者の皆さんの参加と協力を提唱します。

関係者の賛同により、来年春を目途にまずは食品スーパーを中心として本県全域での実施を目指します。

1 レジ袋削減の必要性

レジ袋の削減を通じて県民の生活全般に3Rの輪を広げ、持続可能な循環型社会の形成及びCO₂削減による地球温暖化対策をさらに推進する必要がある。

2 レジ袋無料配布中止の優位性

南信州の地域で平成21年2月1日から「無料配布中止」を開始。導入後のマイバッグ持参率は92.8% (平成24年3月)。

<参考>県下平均48.4% (平成24年3月)

3 スケジュール等

- 平成24年秋 : 長野県レジ袋削減推進協議会(仮称)の設立
 - ・知事による提唱を受けて「レジ袋無料配布中止」に賛同する事業者、経済団体、消費者団体、行政による協議会の設置。
 - ・協議会において「レジ袋無料配布中止」の決定
- 開始までの間 : 周知キャンペーンの実施
- 平成25年春 : レジ袋無料配布中止の開始(目途)

環境部 廃棄物対策課 資源化推進係
(課長) 古厩昭彦 (係長) 古川 浩
(担当) 渡辺敬介
電 話 : 026-235-7181 (直通)
026-232-0111 (代表) 内線 2794
F A X : 026-235-7259
E-mail : haikibut@pref.nagano.lg.jp

マイバッグの普及のため長野県全域での 「レジ袋無料配布中止」を提唱

1 「レジ袋無料配布中止」の全県における実施

長野県の豊かな自然環境を守り地球の温暖化を防止するため、レジ袋を削減し、マイバッグの普及に最も効果のある「レジ袋無料配布中止」について、県民の皆さんのご理解と事業者の皆さんの参加と協力を提唱します。

関係者の賛同により、来年春を目途にまずは食品スーパーを中心として本県全域での実施を目指します。

2 レジ袋削減の必要性

レジ袋の大量消費は、ごみの増加や石油資源の枯渇、CO₂の排出、自然界や生態系への影響など様々な問題があります。また、レジ袋の削減を通じて、県民の生活全般に3R（リデュース、リユース、リサイクル）の輪を広げ、持続可能な循環型社会の形成及びCO₂削減による地球温暖化対策をさらに推進する必要があります。

3 レジ袋無料配布中止の優位性

県内の南信州の地域では、平成21年2月から先進的に事業者、消費者団体等の協力により「レジ袋の無料配布中止」が実施され、マイバッグ持参率が92.8%（県下平均48.4%（H24.3））と大きな成果を挙げています。

長野県全域で持参率が、現在の約50%から90%となれば、大きな効果が得られます。

- ・ごみ 1,664 t 減量（1枚8g）…2,774世帯分の年間ごみ排出量に相当
- ・原油 3,806kℓ節約（1枚18.3mℓ=おちょこ1杯分）
…200ℓドラム缶で富士山4.5個分の高さに相当
- ・CO₂ 12,688 t 削減（1枚61g）…2,307世帯分の年間排出量に相当

平成24年9月14日

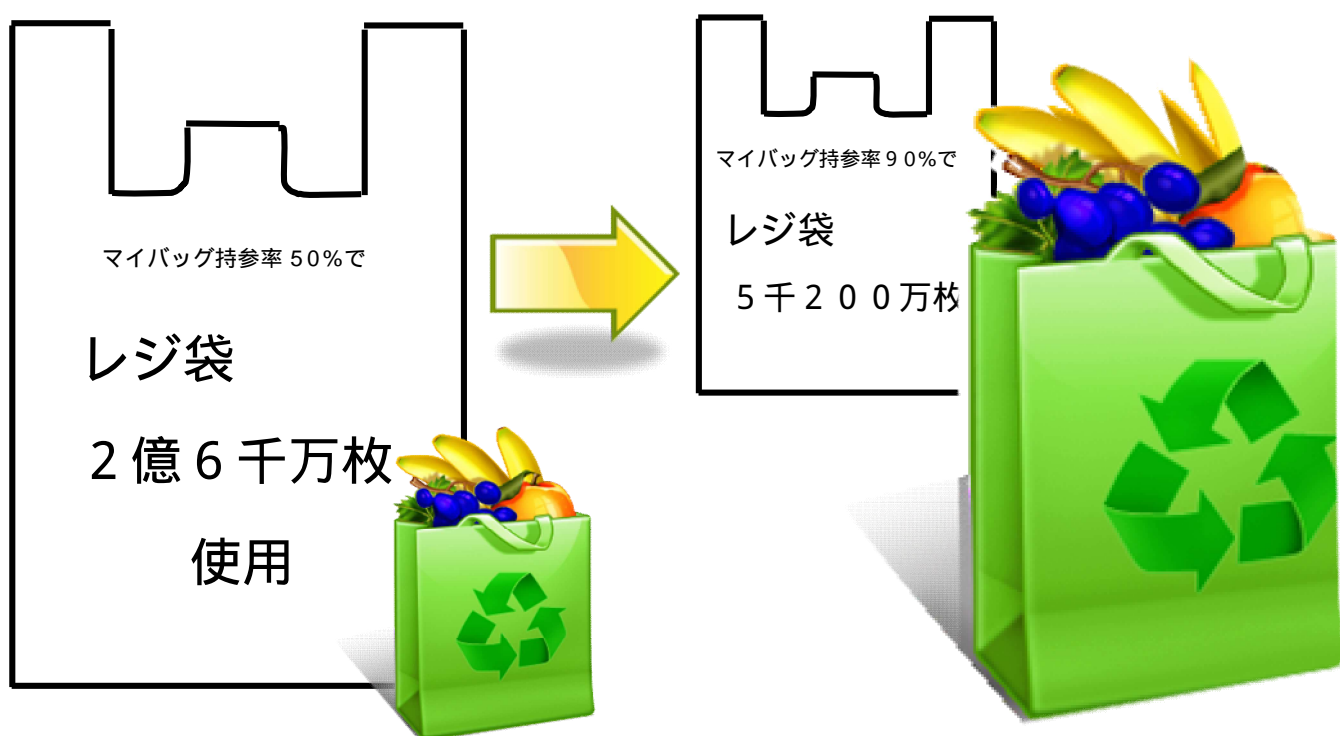
長野県知事

阿部守一

お買い物するとき

みんながマイバッグを持つようになると…

長野県で1年間に使用されるレジ袋の枚数が、



2億800万枚も削減！

長野県内のマイバッグ持参率

取組開始前は、**27.8**% (平成20年3月)

平成20年10月から「レジ袋削減県民スクラム運動」開始。

取組後現在は、**48.4**% (平成24年3月)

ゴミの削減効果

レジ袋が2億800万枚減るとごみ1,664tの減量になる。
(レジ袋1枚あたり8グラムの重さ)

それは2,774世帯分の年間ごみ排出量に相当。



1世帯当たり年間で約600kgのごみを排出

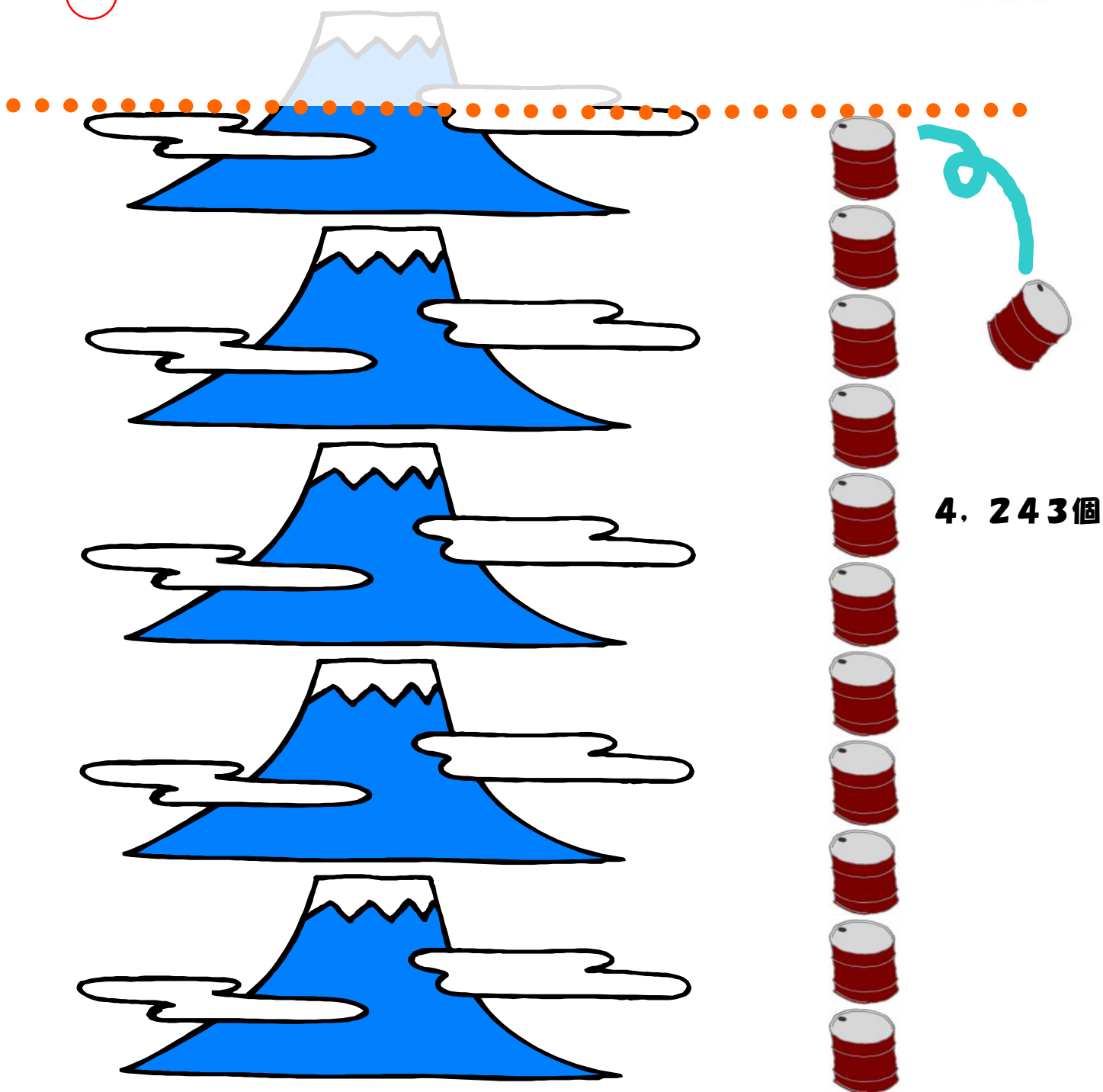
石油資源の削減効果

レジ袋が2億800万枚減ると原油**3,806kl**の節約になる。

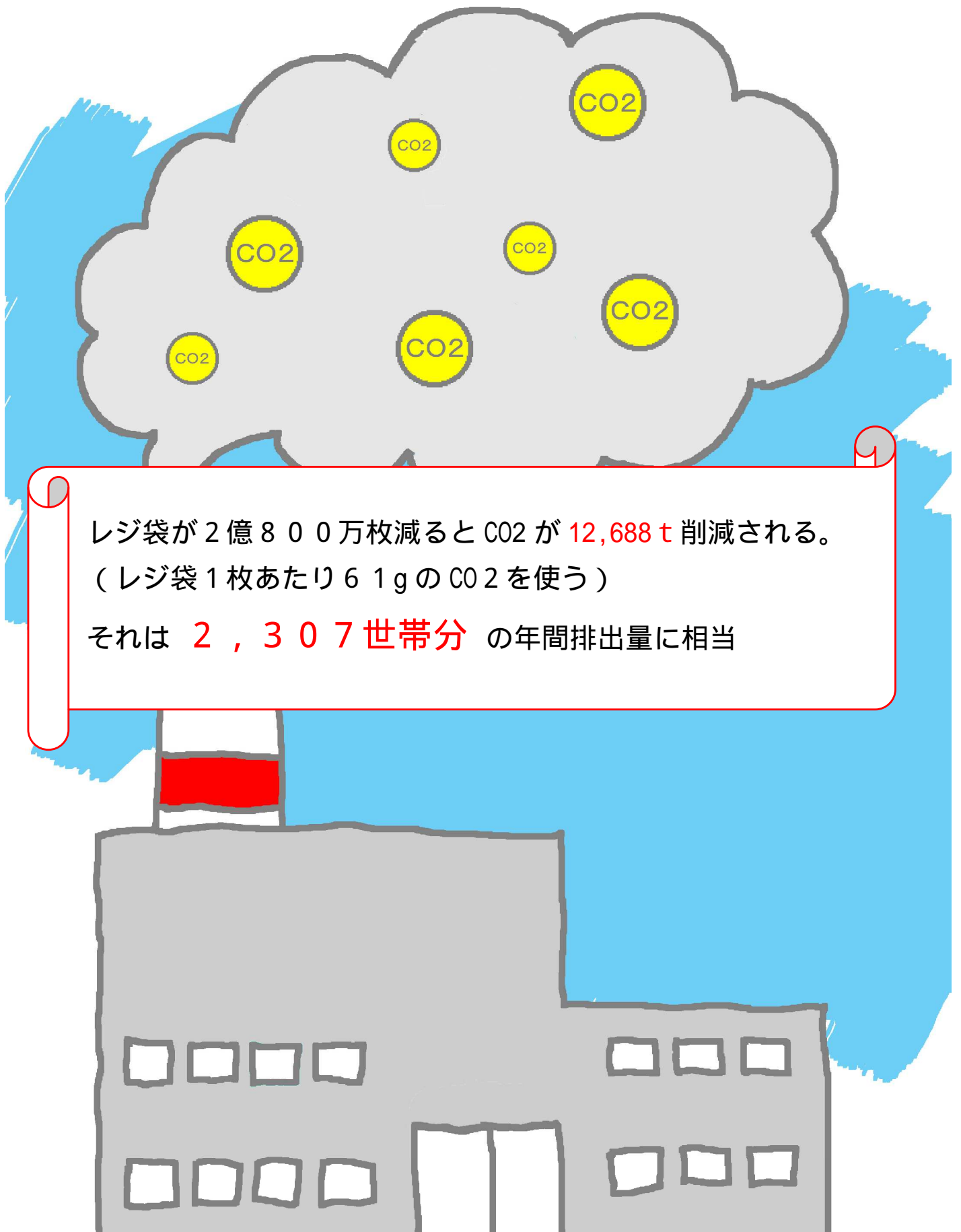
(レジ袋1枚あたり原油**18.3ml**使用。**おちょこ一杯分**)

積み上げると**富士山4.5個分**の高さに相当

(**200ℓ**のドラム缶**4,243個分**)



CO₂の削減効果



レジ袋が2億800万枚減るとCO₂が12,688 t削減される。
(レジ袋1枚あたり61gのCO₂を使う)

それは2,307世帯分の年間排出量に相当